

山行報告書

山行管理部

ウィークデー 奈良白豪寺・正暦寺 1月23日

L 阪上・島田 14名

近鉄奈良駅 10:00～春日大社 10:30～白豪寺 11:20～八坂神社 11:45(昼食)
～正暦寺 1:40～円照寺バス停 2:30～近鉄奈良駅 3:10 (解散)

春日大社付近で雨がポツポツと降りだし時折あられが強く降ってきたりと悪天気の中、八坂神社での昼食後、正暦寺までは竹林・茶畑・深い杉木立と野たっぷりのコースだった。

正暦寺辺りから雨も上がり晴れ間も出てきて円照寺の山道を通って無事にバス停に到着、皆様お疲れ様でした。(島田 記)

サロン 萩・津和野バスツアー 1月18日～19日

L 宇野・矢野 13名

8:00 大阪出発—山陽道・中国道—14:30 津和野着

山が近くこじんまりした城下町を1時間散策、道路の両脇に雪が残る山相の道を抜け 16:30 萩到着。18:00 からのバイキングを心行くまで頂く。

翌朝 8:00 ホテル発車、窓から歴史の街を眺めながら松陰神社着、当時を残す松下村塾と吉田松陰、文さんの簡素で慎ましい旧家を見学する。

バスで移動、幕末の志士の住まいの多くが残る城下町をひと巡り、バスは山口市到着、国宝瑠璃光寺の見事な五重塔とその公園を観賞して 19時大阪到着しました。(宇野 記)

有志山行 真妻山 1月31日 L 楠本・定井(国) 10名

山野小学校 9:30—頂上 11:00 下山—11:10 昼食—大滝森林公園
13:00—山野小学校 14:30

寒く雪が舞う山頂でしたが計画どおり下山しました。(楠本 記)

教育部 比良堂満岳（春山のアルプスにむけ雪山の 基本訓練）

1月31日～2月1日 L高桑 5名

1/31 J R 堅田駅集 16:00→イン谷→テン場 16:30

2/1 6:00 起床テン場 8:00 出→堂満第1ルンゼ 9:50→金糞峠 14:30

テン場 15:40 撤収 16:50 反省会 帰阪

去年は雨だったが、今年は入山後積雪15cmぐらいの雪。

夜のテント内では鍋などを食べながら初テン泊のYさんを皆であれこれ指導の肴で酒宴。

翌朝は雪が深々と降るも傍で府連の救助隊の講習で賑やか。雪空と救助隊を見ていて出遅れる。ルンゼに入るとトレースがあるものの、滝を越えてそれは中央稜へ。滝はロープを出して確保をして通過。

そこからはきたろうが最初のパーティーとなりラッセルをしながら進む。途中ワカンを付けるため休憩。すると、それまで人影がなかったのに後続に12人パーティーが突然現れ先行を委ねる。

しかし、多人数故に遅々として進まず、待ち時間が多く、身体が冷える。

でも、単独よりはやはり、早く登頂できたのかなと微妙な感じ。

堂満山頂では東稜からの人も加えて20人以上の賑い。

下山では青ガレも雪に埋もれ、テン場まで泥で汚れないほど雪が残り靴もアイゼンもきれいだった。Yさんの感想は何もかもが新しいことで雪山を大いに堪能した山行であった。
(高桑 記)

土曜山行 綿向山 2月7日 L願野・乾 20名

森ノ宮駐輪場 7:00 出発→西明寺登山口 8:40 着 登山口 9:10…5合目小屋…7合目行者小屋…冬道…12:00 綿向山頂上（昼食）12:30…イハイガ岳（ピストン）13:00…7合目小屋…14:40 登山口 15:00→17:00 森ノ宮着

4名のキャンセルが出たものの、20名の参加者があり出発。ヒミズ谷出合小屋からアイゼンを装着。途中、われわれのグループの間に他の登山者が入ってしまい、後続の数名と別れてしまうハプニングがあったが、すぐに合流できた（分岐で待つべきだった。反省）樹氷は5合目頃から見られ、山頂は風もなくとても穏やか、雨乞岳、鎌が岳などを目の前に見る事ができた。時間に余裕があったのでイハイガ岳までりっぱな樹氷を見に足をのばす事もできた。
(願野 記)

ウィークデイ ほしだ園地 2月12日 L徳永・森(勝) 18名
京阪私市駅 10:00～森林鉄道風歩道橋 10:45～ピトンの小屋 11:00～星のブランコ
11:30～やまびこ広場(食事) 11:45～12:30～展望スポット 12:40～ピトンの小屋
13:20～私市駅 14:20 解散

暖かな日差しの中、のんびりハイクを楽しみました。

ピトンの小屋から、ハヤブサが見られてラッキーでした。(徳永 記)

自然保護 野鳥観察(枚方、淀川河川敷) 2月8日

L石野(明)・目加田 9名

京阪枚方市駅 9:30 淀川河川敷～ 11:00 休憩 11:15～
12:15 鳥合せ 12:30 解散

さっきまで雨が降っていたのに鳥いるのかな?と不安を抱きながら現地に向かった。

「雨上がり鳥は餌を求め、活発に動きます。」と松下さんの説明あり。

知らなかった! どんより曇った河川敷であったが、草叢からの鳥の声、ざわめきからそうだと知った。

期待していたベニマシコは姿を見せてくれなかったが、カワラヒワ、アオジ、ヒドリガモなどいろいろな鳥を松下さんの望遠鏡で、間近にくっきりと観察できた。圧巻は帰路に着いた我々の眼前に現れた2羽の雉。松下さんでさえ「1羽いるのは分かっていたが、2羽は初めて。感激です!」。2羽が翔び立つ姿をみんなですばらく眺めていました。この日は31種を観察した。(目加田 記)

タ〜ブル 小野アルプス 2月15日 L上坂・堺 27名

新快速姫路行き 8:00 発=加古川 8:52 着 加古川線 9:10 発=市場 9:27 着
白谷温泉ゆびか 9:50 着(説明・体操) 10:05 出発—前山—愛宕山—安場山—
アザメ峠—総山—アンテナ山—惣山 12:08 着(昼食) 12:50 発—紅山 1:18 着
1:40 発—女池・男池—小野町駅 2:50 着(解散)

前日までの寒い日々と一転して暖かい一日でした。いくつもの低山をアップダウンしながら紅山の岩場も無事クリアし、女池、男池でカモを見て小野町駅には予定よりはるかに早く着きました。反省点としては、乗車予定の電車を急遽15分早めたため少し朝バタバタしたこと、解散地点でもやはりバタバタして、ストレッチもまともできなかったことなどです。(堺 記)

サロン 阿倍野防災センター 2月7日 L宇野 矢野13名

JR 天王寺に 10 時に集まり、15 分程で防災センター3 階に到着、直ぐに他のグループと一緒に体験コース、体震部屋を抜け煙の中を口にハンカチを当て腰をかがめて脱出、台所から出火一人一人全員が消火器で消火する。次のコーナーは阪神大震災の当時の様子が再現されている部屋、町を歩く時の注意等の説明を聞く、最後は立って手すりを持ち阪神大震災の震度の体験、東北大震災の震度の体験をするも、その凄さにこんな揺れって有り得ないよと驚くばかり、現実には有ったのですね。これは、あの惨事になるわなーと改めて怖さを感じました。映写室で東北大震災の当時の映画を見て終わりました。

(宇野 記)